

6年生全員集合!

2025.2.1発行

伊豆市 [No.83]

伊豆市議会新体制
伊豆総合高校写真部と意見交換

本日の
ポイント!

- 伊豆市議会新体制
- 伊豆総合高校写真部と意見交換

伊豆市内小学校・義務教育学校6年生交流会の様子

議案一覧『議会は可決・同意』

※詳細はホームページをご覧ください
録画配信はこちら▶



報告	専決処分の報告について（市有財産の管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）
予算	令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第7回、第8回）
条例	伊豆市新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の廃止について
	伊豆市営住宅条例の一部改正について
	伊豆市消防団条例の一部改正について
その他	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について
	公の施設の指定管理者の指定について ・修善寺自然公園 ・湯の国会館 ・萬城の滝キャンプ場 ・中伊豆室内温水プール
	土地改良事業（ ^{ほんづつみいけ} 本堤池地区）の緊急防災工事計画の策定について
	土肥温泉事業の公共施設等運営権の設定について
	伊豆市監査委員の選任について
	工事請負契約の締結について
発議	財産の取得の変更について
	伊豆市議会議会改革推進特別委員会設置に関する決議

賛否が分かれた議案	尾垣和則	飯田大	浅田藤二	小川多美子	黒須淳美	鈴木優治	波多野靖明	間野みどり	青木靖	三田忠男	小長谷順二	森良雄	木村建一	議決結果
土肥温泉事業の公共施設等運営権の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
伊豆市議会議会改革推進特別委員会設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

※議長（下山 祥二）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
※最終日に討論が計5件ありました。（賛成討論4件、反対討論1件）
詳細は定例会最終日の録画配信をご覧ください。

アクセスはこちら▶



令和6年伊豆市議会

12月定例会

会期：令和6年11月29日（金）～12月20日（金）

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
11/25	26	27	28	29 本会議初日 議会広報委員会	30	12/1
2	3	4 本会議2日目 （一般質問）	5 本会議3日目 （一般質問）	6 本会議4日目 （一般質問）	7	8
9	10 議会運営委員会 本会議5日目 （議案質疑）	11 総務経済委員会	12 教育厚生委員会	13	14	15
16	17	18	19	20 本会議最終日 議会改革推進特別委員会 議会広報委員会	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1/1	2	3	4	5



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載
アクセスはこちら▶



要チェック議案



- ・議案第93号 令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）
- ・議案第100号 公の施設の指定管理者の指定について（萬城の滝キャンプ場）
- ・議案第107号 令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第8回）

令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）

詳細

※1万円未満は切り捨て

民生費：心身障害者福祉費 他 【7,402万円】
（利用者増による障害福祉サービス費の増 他）
教育費：学校給食費 他 【2,118万円】
（物価上昇に伴う賄材料費の増）
土木費：道路新設改良費 【1,000万円】
（改良路線の見直しに伴う市道小川遠藤橋線【加殿工区】測量設計業部委託料）



令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第8回）

詳細

※1万円未満は切り捨て

民生費：社会福祉総務費 【1億3,950万円】
（非課税世帯への物価高騰対応重点支援給付金事業）



12/10

○ 議案質疑

12/11・12

○ 常任委員会



議案質疑

◆伊豆市営住宅条例の一部改正

質疑

Q 伊豆市営住宅全体として、数は足りているのか。

A 数の不足はなく、少し多い状況と認識しています。

Q 新設する検討があるのか。

A 検討していません。

◆公の施設の指定管理者の指定について（萬城の滝キャンプ場）

質疑

Q キャンプ場の運営スタイルは、現在と同様と考えてよいのか。

A 現在と同様の運営を想定しています。

プラス要素として、スマートチェックインシステムなどのDXサービスの導入も計画されているため、施設予約など利便性の向上が図られると期待しています。

Q (株)NTT Landscape は実績が無いようだが、審査会の結果を受けて当局は良しとしたのか。

A 当該法人は今年新たに設立された法人であるため、実績はありませんが、共同出資社のテルウェル東日本には、首都圏を中心に数多くの指定管理施設の運営実績があります。

審査会では、提出された資料に基づき、プレゼンテーションやヒアリングによる審査が行われ、候補者として相応しいと答申をいただきました。適切な管理運営を行っていただけるものと期待しています。



萬城の滝キャンプ場（バンガロー）

◆土肥温泉事業の公共施設等運営権の設定

質疑



Q 土肥温泉PFIソリューションズとはどんな会社か。

A PFI法に準じて、土肥温泉事業の管理運営を行う目的で設立された特別目的会社です。

Q 損失・負債による市の負担は、大規模災害等の例外を除き、基本的に市が負担することはありませんか。

〔賛否〕

定例会最終日、本議案に関して2名が討論を行いました。
反対討論 森 良雄 議員
賛成討論 小長谷 順二 議員

※動画配信はこちら▶



総務経済委員会

◆公の施設の指定管理者の指定について（湯の国会館）

質疑

Q 市民の利用率は把握しているのか。

A 令和5年度は、市外の方の利用が若干多くなっています。コロナ禍以前の割合に戻っている状況です。

◆公の施設の指定管理者の指定について（萬城の滝キャンプ場）

質疑

Q 経営が軌道に乗った際は、最終的に施設の買収をお願いする考えはあるのか。

A 指定管理の募集要項の中で、売却を前提とした協議を行うとした上での応募ですが、その「Landscape」の設立趣旨が赤字経営の公営施設の管理運営が事業の柱のため、基本的な考えは指定管理業務として行い、買収等も検討

していく余地はあると回答をいただいています。

◆土地改良事業（本堤池地区）の緊急防災工事計画の策定

質疑

Q 緊急防災工事計画と聞くと、非常に危険なイメージがあるが、説明を願う。

A 東日本大震災で、溜め池の決壊により様々な被害が起きたため、溜め池の調査があり、家屋などに被害を及ぼす恐れのある重点溜め池として、本堤池が知事に指定されました。緊急防災工事計画をつくり、改修するため、令和4年度から測量や設計、調査などを行い、計画をまとめました。令和7年度に詳細設計を行い、令和8年度から2年間で工事を行う予定です。



本堤池（小下田）

教育厚生委員会

◆令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第7回）

質疑

Q 学校給食費の物価高騰分は、保護者負担ではなく市で負担するのか。また、1食あたりの具体的な金額は。

A 保護者負担の検討は現在ありません。中学生を例にすると、現在の311円から40円程度値上がり、年間一人あたり7200円程度市の負担が増える試算です。

質疑

Q 心身障害者福祉費の補正増加の説明を願いたい。

A 4月から3年に1度の報酬改定があり、加算額が増加します。また、福祉サービス費は利用者が大幅に増加し、増額となっている状況です。



伊豆中学校エントランス付近

◆財産の取得について（新中学校）

質疑

Q 子どもたちに良い環境で、学校生活を送ってもらうための補正という認識で良いか。

A 校舎に木をふんだんに使用し、学校環境に温かな雰囲気を取り入れているため、備品を木製にするなど、より温かみのある仕様に変更します。



質問 持続可能な伊豆市とは



動画はこちら

答弁
直接的な原因は把握できていませんが、持続可能な米の生産を続けていくために、また、荒廃農地を含め米の生産だけでなく、農業、農地を維持し続けていくために、多くの課題を抱えていると捉えています。
荒廃農地の現状の課題として、農業従事者の高齢化、後継者不足、市内の人口減少による農業者の減少が主なものと考えています。

今年の夏、米不足となりスーパーなどに商品がなく、農協にも在庫がない時期がありました。
持続可能という点から、今年おきた米不足と、伊豆市や全国の中山間地域で増えている荒廃農地の現状を考えて、どのように捉えていますか。



浅田 藤二 議員

質問 『子育て全力宣言』をもっと前へ



動画はこちら
※他の質問あり

答弁
①子育て全力宣言は、「出会いから結婚、出産、子育てまで子どもに関することは何でも応援します」という想いをキャッチフレーズ化したもので、何歳までという概念はありません。②伊豆っ子未来応援金は、小学校入学を機に転出入の動きが落ち着くことから「これから伊豆市で育ってほしい、過ごしてほしい」という意味を含めて支援することになりました。③現在行っている事業の効果検証や、財源との兼ね合いを見ながら研究させていただければと思います。

①結婚から子育てまで切れ目ない支援を掲げていますが、子育て全力宣言の年齢は何歳までですか。②伊豆っ子未来応援金はなぜ小学校だけですか。③子育て全力宣言の新規事業として高校生への入学応援金、伊豆箱根鉄道通学定期代の補助をしませんか。



木村 建一 議員

質問 先の伊豆市議会議員選挙の所感を問う



動画はこちら
※他の質問あり

答弁
国民全体としての選挙や政治への関心が低くなっていると感じています。要因として「自分たちの声が政治に反映されない」「自分の一票で政治や社会は変わらない」などの意識を、多くの方が持っていると考えます。対策として若年層を含めて、今以上に啓発活動の取り組みを強化していきたいと考えています。
投票所が増えると、経費面・人材確保面が難しいと感じています。また、投票日の時間短縮は、法律の運用面から難しいと考えています。

今回の市議会議員選挙で、投票率が低下した原因分析と対策を問います。
対策の一環として、若者と共に高齢社会に対応して、身近な場所での投票が出来る移動投票所や、交通弱者への配慮等、環境整備が求められますがいかがですか。また、期日前投票の活用により、投票日の時間短縮を図ることが出来ないか伺います。



三田 忠男 議員



録画配信へ

市政を問う

～一般質問～

12月定例会では、12名の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁を要約してお知らせします。



パソコン

伊豆市議会 ライブ中継

👉 🔍 検索 からご覧ください。



Android
スマートフォン

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。



iPhone
アイフォン

カメラアプリを起動してQRコードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

質問 増え続ける耕作放棄地



動画はこちら
※他の質問あり

答弁
耕作放棄地は、毎年農地の利用状況を調査し、把握しています。令和5年度の調査結果で荒廃農地と認められた面積は、田65ha、畑146ha、合わせて農地面積の13%でした。
耕作放棄地等は景観上の問題や、周辺農地へ与える影響など、大きな問題と捉えています。
荒廃地への植栽ですが、今後ますます耕作放棄地が増えると予想される中で、レンゲやコスモスなどの景観作物をはじめ、どのような対策が有効か、地域づくり協議会などとも協議していきたいと考えています。



小川 多美子 議員

市内には耕作放棄地はどれだけあります。また、この状態をどれだけ把握し、どのように考えていますか。
荒廃地に花木、あるいはレンゲやコスモス、コキアなど、比較的手のかからない植物等植えることを考えませんか。

質問 合併特例債の活用状況と新たな財源

質問 持続成長する「伊豆市の未来」に向かい、あゆみを進めていくためには、市政運営20年の検証と新たな財源の確保が必要で、合併特例債の発行期限が今年度末で終了します。新市建設に活用した合併特例債の発行額、充当事業、返済スケジュール、新たな財源等の確保について伺います。

答弁 伊豆市の合併特例債発行総額は、193億9000万円で、有利な起債をまちづくりに有効に活用できたものと考えています。

主な充当事業として、伊豆聖苑建設、光ファイバ網整備、修善寺東ごも園建設、現在建設中の新中学校などに活用し、返済は3年の据置期間を含め15年を償還期間としています。

新たな財源として、起債以外にはふるさと納税による寄附に期待しています。獲得競争に負けることなく取り組みを進め、財源の確保に努めてまいります。



動画はこちら
※他の質問あり



小長谷 順二 議員

質問 給食センター再編に伴う学校給食施策は

質問 次代を担う児童生徒の栄養管理は教育環境を整えるうえで必須です。とりわけ学校給食を介しての食育は成長期の教養、運動、健康の基礎となります。学校給食の実態と今後の施策について質問します。①児童生徒1人当たりの配食量②賄材料費(保護者負担)③地産地消④小中学校の給食費無償化

答弁 ①配食量は、育成年代ごとに必要な栄養価を基に分量を算出し、適切な量を提供しています。②賄材料費について、保護者負担分の増額はしておらず、今年度も増額が生じないよう対応しています。③地産地消の推進では、米、椎茸、野菜の一部、大豆、梅等、市内産食材を活用しています。④給食費の無償化については、児童、生徒の給食への興味関心が薄れる懸念や、安定的に給食提供を行うための財源確保といった課題があると認識しています。今後国の方針を注視しながら検討を進めていきます。



動画はこちら
※他の質問あり



飯田 大 議員

質問 「大学生の通学補助について」

質問 近隣市町の一部では地元から通学する大学生に対して新幹線など、通学費用の一部補助を行うことで保護者の経済的負担を軽減し、将来的に働き世代となる若者、将来世代への投資と考え取組みを行っているようです。伊豆市でも通学補助が実現できないかと考えますが、いかがでしょうか。

答弁 大学生などへの通学支援は、御殿場市・長泉町・小山町が補助を、清水町が貸与を行っていることと承知しています。それらの市町は新幹線駅周辺にあり、新幹線駅から直接首都圏に行ける立地です。一方で当市は、新幹線駅まで別の鉄道でのアクセスが必要で、運賃が別にかかるなどの理由から、同じような取組みをしても効果は見込めないのではないかと考えています。

ご指摘のとおり、人口流出を抑制する取組みは必要であると考えますので、実際に大学生に話を聞くなどして、有効な施策を考えていければと思います。



動画はこちら
※他の質問あり



波多野 靖明 議員



動画はこちら
※他の質問あり

質問 新中学校の運営方針とその教育の将来像は

質問 伊豆市の将来を見据えての市内3中学校統合による新中学校の開校が、いよいよ4月に迫っています。広域からの通学の課題や部活動のあり方、またキャリア教育や探究学習における地域との連携の重要性、さらに土肥小中一貫校との交流や、グローバル化への対応として英語力向上など、教育の取り組みの将来像について伺います。

答弁 通学の課題には、バス、徒歩、自転車の安全確保や負担軽減に向けた対応を進めています。部活動の地域移行は課題が多いですが、部活動指導員の配置を進めています。

キャリア教育や探究学習などの地域人材の活用は、教育課程全体のバランスを見極め、進めたいと考えます。土肥小中一貫校とは、多方面で連携を進め、より充実した教育環境を提供していきたいと思っています。

英語力向上については、ICT環境の整った英語兼多目的室で、世界と繋がる様々な取り組みができるものと考えています。



動画はこちら
※他の質問あり



黒須 淳美 議員

質問 伊豆市における老々介護の実態と対策は

質問 10月20日の選挙にあたり、市民や友人とこれまで以上に交流しました。その中で老々介護について不安を抱えている方の多さに驚きました。そこで質問します。①市で捉えている老々介護②介護の悩み相談場所③市として不安を取り除く対策

答弁 ①介護者の実態を把握できないため、要介護認定数から施設利用者の人数を差し引いた約1400人が最大数と推察しています。②市内4地区にある地域包括支援センターで相談を受け付けています。③地域包括支援センターの活動が重要となり、介護されるご本人だけでなく、介護する家族などへの支援も必要と考えます。今後も高齢者支援の窓口として、まずは市民の皆様様に地域包括支援センターを知ってもらうよう努めます。



動画はこちら
※他の質問あり



間野 みどり 議員

質問 高校生の通学補助に工夫を

質問 伊豆市では高校生のバス通学補助制度がありますが、利用するバス停や時刻設定によっては、実質的に補助の対象外になるケースがあります。そもそも路線バスの本数が少なく通学に適した時刻のバスが無い方、路線バスを利用すると部活動の朝練習などに間に合わない方などには、通学電車代を補助できるように見直しませんか。

答弁 高校生通学バス補助は、保護者の負担軽減とともに路線バスの維持と利用促進を目的としています。バスと電車のどちらかを選ぶ制度にすると、おそらく駅まで自家車で送り、電車代の補助を受ける生徒がほとんどになることが想定され、路線バスの維持と利用促進の目的が疎かになってしまふことが懸念されます。

現在、市では教育委員会が高校生などに対する無利子の奨学金制度を設けており、通学費にも活用できますので、ご利用いただければと思います。



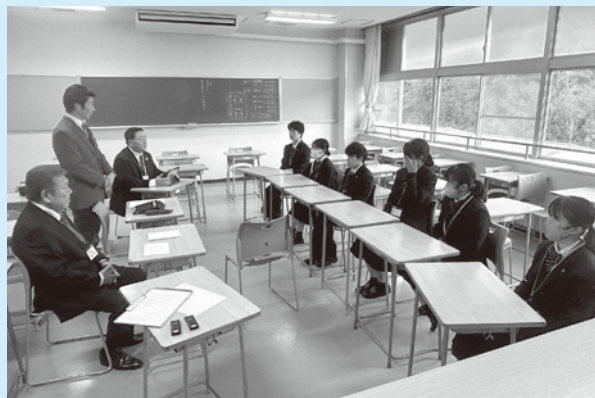
動画はこちら
※他の質問あり



青木 靖 議員

～伊豆総合高校「写真部」を訪ねて～

伊豆総合高校写真部を訪問し、新正副委員長の挨拶と、表紙の依頼、意見交換を行いました。トークテーマは「効果的な広報」「高校生と議会」で、生徒さんから多くの貴重なご意見をいただきました。



▼過去伊豆総合高校写真部とコラボした表紙一覧



【76号】 【77号】 【78号】 【80号】



▲委員長から意見交換の内容報告と共有をしました。

■ 広報委員会から 委員長 波多野 靖明

伊豆市議会広報委員会では、議会だよりをより親しみやすい広報紙にするため、伊豆総合高校の写真部の皆さんと交流しました。今まで皆さんからご提供いただく表紙写真は大変好評でした。今年度はご意見をもとに、こどものイラストなどの採用も検討していきたいと思います。

今回の交流を通じ、広報紙の工夫や伊豆市公式 LINE や SNS 等の活用の可能性について新たな視点を得ることができました。委員会では、これらの意見を活かし紙面づくりを進めていきたいと思っています。

議会だよりを市民の皆さんと議会をつなぐ架け橋として、さらに魅力的にしていきたいと思います。

■ 意見交換の内容

【効果的な広報】

- ・ 見やすい紙面の工夫
- ・ 伊豆市公式LINEの認知向上
- ・ 子どもの書いた絵や写真を取り入れる
- ・ YouTubeの活用

【高校生と議会】

- ・ イベント参加(部活動、文化祭 他)
- ・ 議員の仕事を知る機会を作る
- ・ SNSの活用
- ・ 高校生との活動を増やす

いただいたご意見は、引き続き委員会で前向きに検討させていただきます。

質問 Question

聴覚補助器の積極的な活用への支援を

高齢者が難聴の不便さを解消して、社会の一員として末永く動き、かつ働くことが出来ることは勿論のこと、認知症発症リスクの低減の観点から、自分に合った聴覚補助器を選択できるような、環境を整備する考えはありますか。それに併せて聴覚補助器の購入費用の助成金制度の創設を検討しませんか。

答弁

難聴によるコミュニケーション低下や認知症発症リスクの増加で、介護予防のための補聴器の必要性は認識しています。そのためにまずは厚生労働省の事業を活用し、難聴と認知症の関係、早期介入の必要性を学ぶ勉強会の開催、早期発見のためのチェックリスト作成など、一般市民に向けた啓発活動を実施したいと考えます。

また、助成制度の創設に関しては、必要性は認識しているため、他市町などの状況を踏まえて引き続き検討します。



動画はこちら



おがき かつのり
尾垣 和則 議員

質問 Question

3市の電算センターへ移管しませんか

①伊豆市の電算機で処理している戸籍に関するシステムを三島市、伊豆市及び伊豆の国市で運営する3市の電算センターへ移しませんか。②移管できない理由がありますか。③伊豆市の戸籍システムと3市の電算センターのシステムに違いがありますか。

答弁

①現在使用している戸籍に関するシステムは、国からの補助金を受けるために、市が契約を行っています。

②システムは、現在のリース契約期間が令和11年度までとなっているため、それまでの間は電算センターに移管する予定はありません。

③3市のシステムは、それぞれ独自に導入したもので、それに伴い関連予算の計上の仕方が市によって異なるものです。



動画はこちら
※他の質問あり



もり よしお
森 良雄 議員

議会モニター(3期)のみなさん 1年間ありがとうございました

令和7年1月をもちまして任期が終了しました。
多くの貴重なご意見やご協力をありがとうございました。



議会モニター提出意見
はこちら



アンケートを実施中!

伊豆市議会だより 検索



Webから
できます

ここから1分程度の
簡単なアンケート



前月号アンケートにて、ご意見をいただきましたので
ご紹介します。(※ 回答一部抜粋)

新アンケート 質問事項

- Q1 名前かペンネーム
- Q2 年齢(選択)
- Q3 紙面構成や記事の印象(選択)
- Q4 今月号の内容は(★5評価)
- Q5 記事に対しての意見・感想
- Q6 ページ数は適切か(選択)
- Q7 QRコードの利用(選択)
- Q8 その他意見・感想

良

- ・文字が多いので、写真をもっと使う方が良いのでは。
以前より見やすくなった気がする (★★★★☆ 50・60代 ろくべえ様)
- ・比較的わかりやすい。写真がもう少しあった方が良いのでは。
(★★★★☆ 50・60代 なかくー様)
- ・ページ数は適切、QRコードは利用したことがある。(★★★★★ 50・60代 テリー様)

普

- ・ページ数は適切、QRコードは利用したことがある。(★★★☆☆ 50・60代 おさる様)

広報委員会 委員から

ご回答ありがとうございました。表紙、内容、複数回答いただいた写真等、見やすくわかりやすさを心掛け、皆様により読んでいただけるように編集していきます。引き続きアンケート回答宜しくお願いいたします。

3月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
2/10	11	12 本会議初日 全員協議会	13 全員協議会	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	3/1	2
3	4 本会議2日目 (一般質問)	5 本会議3日目 (一般質問)	6 本会議4日目 (一般質問)	7 本会議5日目 (議案質疑)	8	9
10 連合審査 (総務経済 委員会所管分)	11 連合審査 (教育厚生 委員会所管分)	12 総務経済 委員会	13 教育厚生 委員会	14	15	16
17	18 議会運営 委員会	19	20	21	22	23
24 本会議最終日	25	26	27	28	29	30

※日程は変更となる場合があります

12月 議会広報



11月26日の FMIS生放送で、下山祥二議長が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は2月末に3月定例会のお知らせをします。

議会傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴
ができ、生中継と録画
配信も行っています。



お問合せ先(議会事務局)

Tel. 0558-72-9906

▲アクセスは
こちら

編集後記

昨年10月の選挙を経て、新たな議会構成での活動がスタートしました。本号では、新しい委員会構成のご紹介をはじめ、昨年末の議会活動についてお伝えしております。議会だよりが、皆さまにとって有益な情報源となるよう努めてまいりますので、ぜひ一読いただければ幸いです。寒さ厳しい折、どうぞご自愛ください。本年が皆さまにとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

議会広報委員長 波多野 靖明

